

平成18年度読書感想文コンクール

角館図書館後援会主催の平成18年度読書感想文コンクールが行われ、小・中学校、親子の部合わせて72点の応募がありました。その中から渡邊真祐香さん(角館中3年)の「愛情」が最優秀賞に選ばれました。入賞者と最優秀賞の作品を紹介します。

読書感想文コンクール審査結果(敬称略)

最優秀賞

渡邊真祐香(角館中3年)

小学校下学年の部

入選 佐藤ことみ(角館東小1年)・青山英恵(角館西小2年)
佳作 古郡勇太(角館東小1年)・千葉和華(角館東小2年)
 戸澤梨華(中川小1年)・木元聖(白岩小1年)
 佐々木若葉(西長野小2年)・山崎涼子(角館西小3年)

小学校上学年の部

入選 館岡早貴(西長野小6年)・鈴木芽衣(角館西小6年)
佳作 阿部海星(角館東小4年)・戸澤慶子(中川小5年)
 青山響(中川小6年)・菅原瑞季(白岩小6年)
 千葉桃香(西長野小6年)

中学校の部

入選 更科志保(角館中3年)
佳作 長谷川朝美(角館中1年)・高橋悠理(角館中3年)
 羽根川真(角館中3年)

親子の部

入選 永山拓矢(西長野小6年)・永山久美子(母)

最優秀作品

「愛情」

(図書:「空色の地図」)



渡邊真祐香

「青春と友情」と言われたらあなたは何を思い浮かべますか。この二つへの思いは人それぞれ違うと思います。今、私は果てしなく長い終わりのない旅路のような日常生活にその二つへの思いを見つけようとしています。この本は私にその旅路への「地図」のような物、つまりヒントを与えてくれました。

美凧と初音は小さい頃からずっと友達。幼い頃的美凧はいつも年上の人達からいじめられ、泣いていました。しかし、初音の方はたとえ女子だろうが、男子だろうが、年上だとしても飛びかかって行きます。けれどもやはり、年上の子や男子にはかわされたり、逆にやりかえされたりしてしまいます。初音はいじめられて泣いている美凧を見て「甘ったれ」「意気地なし」というようないろいろな言葉で美凧を呼びます。一見、初音は美凧の事をいじめているようにも見えてしまいますが、これは励ましている、つまり愛情なのです。

今まで私が生きてきた十四年間。たくさんの人と出会いました。家族、先生、友達、地域の人…。数え切れないくらいたくさんの人達に支えられ、助けられてきました。支えられた事により私は、何百回、いや何千回救われたでしょう。その救われた方法にもたくさんありましたが、大きく分類すると、時には優しく、時には厳しく。この二つでした。優しさにも厳しさにもどちらにも愛情というものがあると思います。この二つの愛情というのは成長していく過程で必ず必要なもので大切なものなのです。私は厳しさの方の愛情について体験し、その必要性について考えさせられた事がありました。

私は小学校二年生から水泳を習い始めました。最初のうちは顔に水を付ける事がとても怖く、水泳というスポーツが大嫌いでした。しかし学年が上がるにつれ、進歩し、四年生になると四種目が泳げるようになり、そして五年生になると一つ上のクラスに上がりました。その時は本当に嬉しかったです。しかし、その練習は凄く厳しいものでした。五百メートルを通して泳いだり、三人一組のリレー式で二十五メートルを二十五回ずつ泳いだりと、自分の想像を遥かに超える厳しい練習でした。練習があるたび「嫌だなあ」「やりたくない

なあ…。」とっていました。私はその時は、厳しさの方の愛情の意味は知りませんでした。けれど、その意味を理解する日がやってきました。それは小学校最後の水泳大会の時のことでした。

小学校最後の水泳大会とあって、私は多くの種目に出場する事になっていました。雨が降っていて寒かったので、自分でベストを尽くせるか心配していました。私が心配していると先生が、「練習通りの泳ぎをすれば大丈夫だ。頑張れ!」とってくれました。その言葉のおかげで勇気を貰う事ができ、すべての競技において自分の納得のいく泳ぎをすることができました。そして、すべての種目の結果をみると、今までには無いようないいタイムがでていました。私は感動し、先生達への感謝でいっぱいでした。

先生は厳しさの面での愛情を与えてくれたから私は成長することが出来たんだなあ…。と振り返り、過去に「嫌だなあ」と思った自分に罪の意識を感じました。

美凧と初音の場合も同じく厳しさの愛情だったのでしょ。初音が発したその言葉にはたくさんの意味があったのだと思います。慰め、励まし…。美凧はどのように受け取ったのでしょうか。でもその言葉により、美凧が成長したことは間違いのないでしょう。

そして美凧と初音が中学校三年生になると、美凧は男の子のようにたくましくなり、初音は友達思いな優しい子になりました。中学校三年生になってから二人はまた出会い、美凧のグライダーに乗るという夢を叶えるため、音楽の演奏で協力しながらお金を稼いでいきます。そして集めたお金でグライダーに乗り、広く無限に続く大空に向かって飛んで行きました。二人の友情はいつまでも変わらず、素晴らしいものだったので。広く青い大空のように…。

この本で青春と友情について「愛情」というものが絡む、かけがえのないもの」という一つのヒントを得ることができました。それに絡む「愛情」というのは人に成長を助けてくれる最大の魔法なのだなあと思いました。そして、今度は私もいろいろな人を支える役にもなり「愛情」という魔法を使っていきたいです。